

「望ましい学校規模」について

論 点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校規模の在り方 ・ 1 学年 4 ～ 8 学級規模を「望ましい規模」とすることの妥当性 ・ 改定指針における扱い など
--------	--

1 これまでの経過等

- ・ 平成 2 年「北海道高等学校生徒減少期対策懇談会」
高等学校として望ましいのは教育効果の観点などから 3 間口あるいは 4 間口以上が確保されていることであるが、本道においては少なくとも 2 間口が確保されることが必要
- ・ 平成 7 年「公立高等学校適正配置の課題と見通し」
適正な規模については、本道におけるこれまでの議論で 4 ～ 8 間口が望ましく、小規模校でも 2 間口が確保されることが必要というのが、ほぼ一致した結論となっていることから、この観点に立って、大規模校、小規模校それぞれの適正化を図っていく必要がある
- ・ 平成 12 年「公立高等学校配置の基本指針と見通し」
選択幅の広い教育課程の編成をはじめ、特別活動や部活動などを効果的に展開する観点から、4 ～ 8 学級を望ましい適正規模とするが、これを下回る学校については、広域で人口密度の希薄な本道の地域性を踏まえて取り扱う
- ・ 平成 18 年「新たな高校教育に関する指針」
一定規模の生徒及び教職員の集団を維持し、活力ある教育活動を展開する観点から、1 学年 4 ～ 8 学級を望ましい学校規模とし、再編整備を進めます。その際、今後の中学校卒業業者数の状況も踏まえた上で、生徒の進路動向、私立高校の配置状況などを総合的に勘案し、都市部と郡部の違いにも配慮しながら、計画的に再編整備を進めます。

【望ましい学校規模の利点】

- ① 多様な個性を持つ生徒と出会うことにより、お互いに切磋琢磨する機会が得られる
- ② 生徒の学習ニーズに応える多様で柔軟な教育課程が編成できる
- ③ より多くの教職員の指導により、多様な見方や考え方が学べる
- ④ 生徒会活動や部活動が活性化し充実する

2 現行指針における記載内容

- ・ 可能な限り 1 学年 4 ～ 8 学級の望ましい学校規模を維持できるよう、再編整備を進める

【3 学級以下規模校（離島、地域連携特例校等を除く）の取扱い】

3 学級 以 下	第 1 学年 3 学級以下の高校については、可能な限り望ましい学校規模となるよう近隣の高校との再編を進めます。
2 学級 以 下	第 1 学年 2 学級以下の高校については、原則として、通学区域における中学校卒業業者数の状況、学校規模、募集定員に対する欠員の状況、地元からの進学率、通学区域における同一学科の配置状況などを総合的に勘案し、順次、再編整備を進めます。

3 市町村等からの主な意見

- ・ 4～8学級を望ましいとする考え方が「望ましくない」小規模校の募集停止につながる
- ・ 3学級規模以下の高校が半数以上を占める現状を勘案して、望ましい規模を見直すべき

4 望ましい学校規模を4～8学級としている考え方

- ・ 平成18年指針の考え方を踏襲
- ・ 4学級以上とするのは、生徒の集団を確保するほか、地理歴史、理科や芸術教科における専門性の高い教員の配置など、柔軟な教育課程の編成に必要な教職員数を確保するねらい

規 模	教員数（普通科）	開設科目数（普通科）	部活動設置数
4学級規模	30人	43科目程度	体育系10.4 文化系9.6
3学級規模 (部活は2学級規模)	25人	36科目程度	体育系 6.6 文化系5.0 *2学級規模の設置数

- ・ 8学級以内とするのは、学校全体での行事の運営に支障をきたすことや、施設設備の利用が過密になることを避けるねらい

* 全国的には令和3年度現在で、本道を含む36都道府県が望ましい規模を設定し、うち22道府県が4～8学級規模を望ましい規模としている。

5 指針運用の実際

- ・ 本年度時点で3学級規模以下の規模となっている高校
3学級規模24校、2学級規模23校、1学級規模55校の合計102校（道立188校の54.3%）

【現行指針策定後に決定又は計画案を公表した道立高校の再編等】

指針の考え方		再編等の状況 ※（ ）は1学年の学級数
規模	概要	
3学級以下	近隣校と再編	[R3] 伊達（3）、伊達緑丘（3）→伊達開来（6） [R5㍿] 名寄（3）、名寄産業（3）→新設校（5） [R7案] 岩見沢東（5）、岩見沢西（3）→新設校（6） [//] 富良野（4）、富良野緑峰（3）→新設校（5） *いずれも所在市からの要望に基づく再編
2学級以下	順次再編整備	[R3] 南幌（1）募集停止 [R5㍿] 留辺蘂（1）募集停止 *地域連携特例校の再編基準並みに小規模校化した状況が2年以上継続するなどし、今後の増が見込まれないため

*この他、穂別（1・地域連携特例校）が再編基準に該当し、R7の募集停止を公表